



3/8（土）令和6年度のしまごうキッズは最終回。子ども達に思いっきり楽しんでもらおうと、餅つきと子ども縁日を行いました。

子ども達は「スーパーボールある！」「お菓子釣りってなに？」「お餅食べる？」とワクワクが止まらず、いつも以上に元気いっぱいでした。

餅つきでは蒸した餅米からお餅になる過程をしっかりと見学。子ども達は杵の重さや、杵にくっつくお餅に大苦戦、杵で餅をつく難しさを実感したようで、自分の思うようにならないことも含めてとても良い経験になったようです。その後は自分の分のお餅を丸めたのですが、小さくても大きくてもよし！出来上がったお餅に大満足の様子でした。

餅つきの順番を待つ間は、縁日遊び。そんな中でふとテラスを見ると、ビニールプールに沈んだスーパーボールを取ろうと頑張っている子を、周りの皆が静かに見守る姿がありました。自分の手を止め友だちを応援する子ども達の姿をととても嬉しく感じました。

最後は皆で、ボランティアさん秘伝のきな粉餅を食べた後、6年生の卒業式、閉級式を行い、今年度のしまごうキッズを終了！1年間中学生ボランティア、地域ボランティアの方々に支えられ、しまごうキッズを開催することができました。

本当にありがとうございました。キッズのみなさんいろいろな思い出できたね🎵



しまごう men's かれっじ ～男の料理教室～



3/13 今年度最後の講座は「男子ごはん」でした。講師は、ダイナース・バーのオーナーであり、鴨生田小学校 PTA 会長の近藤祐喜さん。鮭のホイル焼き、レンチンポテサラ、キュウリのツナのせの3品でした。

メンズの皆さんの連携も手際もよくて、お昼前には全員そろって「いただきます！」みんな美味しく食べておしゃべりして、楽しく締めくくることができました。



3/6 フリースペースで楽しく遊びました。

3/13 かもおだこども園の先生が持ってきてくれたバルーン。普段見ないバルーンに大喜びでした。



江川校区まちづくり協議会主催

春を先取り バスハイク



3/15 大分「宇佐神宮」と「昭和の町」に総勢 36 人で行ってきました。あいにくの雨模様でしたが、バスの中での交流もバスハイクの醍醐味のひとつ。住んでいる地域は違いますが、みなさんこれがご縁で楽しく交流を深めていました。宇佐神宮で参拝し、仲見世でお土産を買って昭和の町でレトロな風情に触れ、楽しい1日でした。来年はみんなでテルテル坊主を作って臨みましょう！



島郷文化大学

～笑う 島郷文化大学 には福来る～



3/5（水）令和6年度最後の島郷文化大学は、笑顔で締めくくろうということで、落語＆茶話会を実施しました。宗像落語会の粗忽家酔書さんにきていただき、「魚根問い」や「時そば」といったお話しをしていただきました。次々とくるボケや落ちに、皆さん笑っぱなしで、身を乗り出して聞いていました。また、紙切りでは参加者が思い思いに言ったお題を、その場で切って形にしていきます。「猿」「蛇」「兜」など形がハッキリしている物はまだしも、「天の川」や「大谷翔平」などのスケールの大きなお題も出て、全員がどんなものが出来上がるのか興味津々で見つめていました。粗忽家さんは頭をひねりながら何度もお題を口ずさみ悩みながらも、会話とハサミの動きは止めることなく、見事に全員が「おお～」と納得する作品ができ会場中が感心しきりでした。

茶話会では、今年度の皆勤者の表彰をしたり、お楽しみ袋の抽選会があったりと盛りだくさんで、次年度も館長の手書き表彰状をゲットするぞ！と意気込む顔がたくさんありました。!(^^)!



押し花アート



春の香りも漂う中、3/11（火）のほっとままでは、講師に谷上由紀子先生をお迎えして、美しい押し花を使った作品作りをしました。先生の繊細な絵画のような作品を目指し今回は、ティッシュ box とハガキに挑戦！

アットホームな雰囲気の中、先生の穏やかな人柄と、きめ細やかな指導に、夢中になって作品作りができました。

それぞれの個性やセンスが光った作品ばかりで「自画自賛するほど満足！」と答える受講生も。心が躍る押し花アートの魅力を知る、春にピッタリの素敵な時間でした。



シリーズ第二弾・三弾

若松探訪



第2回「洋上風力発電のこれから」



3回シリーズの第2回は、響灘に建設中の洋上風力発電のお話。建設の工法や、どれくらいの電力をつくるのか、いつから稼働するのか等々「ひびきウインドエネルギー」の方に教えていただきました。

みなさん、興味関心が高かったようで質疑応答で 30 分ほど費やしました。ぜひ、今度は稼働してからの実際を聞いてみたいと思いました。

第3回「洞海湾と船上生活者の歴史」



第3回は神奈川大学名誉教授の田上繁氏をお迎えして、船上生活者のお話を聞きました。たくさんの資料を準備していただき、それだけでも財産になった気がします。話も興味深く、最後まで参加者は熱心に話に聞き入っていました。

若松をさらに知ることができた「若松探訪」でした。来年も乞うご期待です。

